

製品名: INHA (インヒビンアルファ) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80570**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC, ICC, ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000, ICC 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	INHA (Inhibin alpha)
別名	INHA; inhibin, alpha
遺伝子 ID	3623.0
SwissProt ID	P05111
免疫原	大腸菌で発現したヒト INHA の精製された組み換え断片。

背景

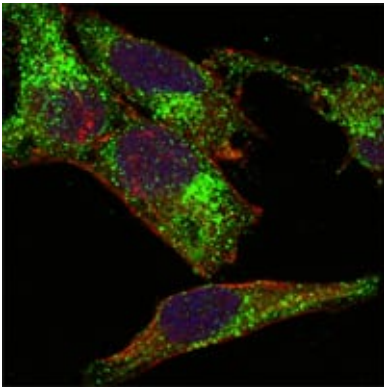
INHA (A-インヒビンサブユニット前駆体、インヒビンアルファサブユニット) は、インヒビン (アルファ) とも呼ばれ、染色体 2q33-q36 にあります。インヒビンは、下垂体卵胞刺激ホルモン (FSH) の分泌を主に抑制する性腺タンパク質です。インヒビンは、インヒ

ピン A と B の 2 つのサブユニットから構成されます。インヒピンは、性腺間質細胞の増殖を負に制御し、腫瘍抑制活性を持つことが示されています。さらに、インヒピンの血清レベルは顆粒膜細胞腫瘍の大きさを反映することが示されており、したがって、原発性疾患だけでなく再発性疾患のマーカーとして使用できます。生殖システムの内分泌フィードバックにおける役割に加えて、インヒピンは、脳、副腎、骨髄、胎盤、そして最も顕著には下垂体前葉を含む多数の性腺外組織で局所的な制御の役割を果たしています。インヒピン α サブユニット遺伝子の発現はヒトの前立腺癌においてダウンレギュレーションされており、腫瘍抑制の役割を示唆している。

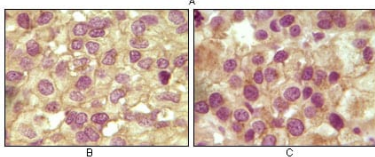
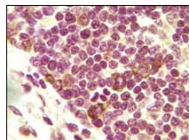
研究分野

-

画像データ



INHA マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の共焦点免疫蛍光染色。赤：アクチンフィラメントは DY-554 ファロイジンで標識されている。青：DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



DAB 染色を伴う INHA マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒトリンパ組織 (A)、卵巣腫瘍 (B)、および精巣腫瘍 (C) の免疫組織化学分析。